

タイトル	創作絵本・アートブック			
学校名	千葉県立 茂原高等学校	美術・工芸	氏名	勝田 徳朗
教材費	350円+α		実施時間数	16 時間

### 1. ねらい

- ①デジタル画像が普及する社会で、手作りの本を制作する楽しさを体験する。また、様々な画材を用いることで、現代美術の手法も学び表現の幅を拡大する試みができる。
- ②絵本やアートブックは、想像力を刺激する表現であると同時に、幼児期の体験を想起させる自己確認の表現とも考えられる。
- ③絵巻物から漫画、アニメーションまで継承されてきた、伝統的な絵画の連続性や複数画面による展開の醍醐味も体験できる。

### 2. 材料

- 生徒：①サインペン(油性、耐水性インク) ②着色材料(色鉛筆、カラーペン、等)  
 ③コラージュ材料(写真、色紙、等) ④製本に必要な包装紙や布 ⑤その他
- 教師 ①参考作品 ②アクリルガッシュ着彩用具一式 ③制作用画用紙(業者特注)  
 ④両面テープ、木工用ボンド ⑤製本用具(厚紙、寒冷紗、はさみ、カッター)

### 3. 展開(時間)

	主 な 内 容	時 数
導 入	①生徒用プリント配布、読み合わせ ②絵本読み聞かせ ○物語絵本－昔話・夢物語・実話・等 ○知識絵本－言語・しつけ・数・等 ○ギャグ・パロディ・ナンセンス・仕掛絵本・アートブック紹介	1 時間
構 想	①アイデアスケッチ(プリント枠内に2案考案)	2 時間
制 作	①画用紙折り込み作業 ②画用紙への下書き、メモ書き ③着彩、貼付け、等の制作 ④製本	1 時間 8 時間 2 時間
まとめ	①各作品鑑賞読み聞かせ	1 時間

### 4. 指導上の留意点

導入：絵本、及びアートブックの基本的な知識をプリントや実際の絵本を通して学ばせる。シュールレアリスムや現代美術の手法も含め、様々な表現方法について紹介し理解させる。

#### 構想

- ①12ページ分の展開とタイトルページについて構想させる(2ページ1画面の制作も可能) 各ページのレイアウトや配色について、全体を考慮した展開を意識させる。
- ②ページを捲った時の視覚的な意外性、継続性を意識させる。
- ③アイデアスケッチは所定の枠プリント用紙を使用。スケッチは、制作関連メモ記入も必要と促す。
- ④記号化、パターン化されたキャラクターデザインは避ける(逆にこんなキャラクターでも良いんだよとレオ・レオーニ「あおくと きいろちゃん」を例にあげて説明する)。
- ④2学期終了時の2時間を用いて導入及びアイデアスケッチに入り、アイデアスケッチの完成を冬休みの課題とする。



## 制作

- ①業者裁断済みコットマン紙(185×1091mm)2枚分を折りたたみ185×約136mmの大きさにする。下絵は各ページ全体の流れに配慮し、アウトラインやメモを薄く描き込み再度レイアウトする。
- ③文字の書き入れがある場合は、画面の配色やバランスに留意させる。
- ④各ページ毎にそのイメージに適した制作方法を考慮させる。絵の具着彩、色鉛筆やカラーペンによる彩色、貼り絵やコラージュ用に色紙や様々な模様のある紙や写真・雑誌グラビアの切り抜き、コンピューターで制作しプリントアウトされたもの等々を考慮し、その材料の収集調達を促す。
- ⑤新鮮な画面展開を心掛けさせ、様々な実験や試行錯誤を適宜紹介しながら制作させる。



- ⑤画面への制作が完成した段階で製本をする。黄ボール紙をハードカバーの芯材として用いそれにも色紙や包装紙等を貼付けたたり、本のイメージに合わせた様々な創意工夫を促す。

## 5. 資料・参考文献

絵本例：レオ・レオーニ、ブルーノ・ムナーリ、大竹伸郎などの作例も紹介。

